

大使館便り

第193号 平成31年4月9日
在ポルトガル日本国大使館

1. 新美大使からのご挨拶

昨年は長崎ーポルト、大分ーアヴェイロの2組の姉妹都市が40周年をお祝いされましたが、今年は、日本とポルトガル最古の姉妹都市である徳島ーレイリアが50周年を迎えておられます。先月用務で一時帰国した折、私は昨年の長崎、大分同様、徳島市を訪れ、遠藤市長に御挨拶すると共に、徳島日本ポルトガル協会はじめ関係団体の方々と、周年祝賀行事等について打合せをさせて頂きました。

ところで、徳島市とポルトガルの御縁は、戦前同市で暮らしたポルトガル人、ヴェンセスラウ・デ・ソウザ・モラエスの存在がきっかけとなっております。モラエスは、多くの方が御存知で釈迦に説法とは思いますが、リスボン出身の軍人、後に外交官に転じた人で、明治後期に外交官として日本に赴任。神戸総領事の職を辞した後の晩年は、昭和初期に亡くなるまで徳島で過ごしました。生前彼はポルト市の新聞に日本を紹介する寄稿を続け、それらは当時の日本を外国人の目で描いた貴重な史料となっております。言ってみればルイス・フロイスと小泉八雲を合わせたような存在ですね。

私自身は恥ずかしながらこちらに着任するまでモラエスのことを知らず、徳島市を訪れるのも初めてだったのですが、今回、桑原会長はじめ徳島日本ポルトガル協会の方々にモラエスゆかりの場所を御案内頂くと共に、モラエス会、徳島市国際交流協会、徳島大学モラエス研究会等関係者の方々からもお話をうかがい、徳島の方々がいかにモラエスとポルトガルに温かい親愛の情を寄せられていらっしゃるかを、よく知ることができました。また訪問を通じ、阿波踊りの他、藍染め、人形浄瑠璃など、同地に残る豊かな伝統工芸、文化に触れることができました。更に付言すれば、たまたま訪問の直前、テレビで「ブラタモリ」の徳島編を見たのですが、番組で紹介された徳島のまちの生い立ちや阿波踊りの歴史等も非常に興味深いものでした。

こうした徳島の伝統・文化は、これまでの姉妹都市交流の中でも度々ポルトガルの人々に御紹介頂いておりますが、今年の周年事業が更に新たな機会となるものと期待申し上げます。

2. 政治・経済関係

(1) ラガルド国際通貨基金（IMF）専務理事が国家評議会に出席

3月1日、ラガルド国際通貨基金（IMF）専務理事はポルトガルを訪問し、レベロ・デ・ソウザ大統領主催の昼食会に参加した後（コスタ首相及びセンテーノ財務大臣同席）、国家評議会会合に出席しました。同会合において、ラガルド専務理事は、ポルトガルの経済危機後の堅調な回復を評価しつつ、今後の優先課題として、財政赤字収支改善の継続、金融システムの修復継続、貯

蓄、投資、生産性向上のための構造改革等に取り組むべきであると勧告しました。

(2) レベロ・デ・ソウザ大統領のアンゴラ訪問

3月5日～9日、レベロ・デ・ソウザ大統領がアンゴラを公式訪問しました（サントス・シルヴァ外務大臣、シザ・ヴィエイラ首相補佐・経済大臣、カポウラス・サントス農業・森林・地方開発担当大臣、カストロ・エンリケスAICEP長官らが同行）。5日、同大統領は、ルアンダ市内でカーニバルのパレードを観覧後、同日誕生日を迎えたロウレンソ・アンゴラ大統領の私的な祝賀会に出席しました。6日、大統領宮での歓迎式典が行われ、両国閣僚らにより社会福祉、海洋・港湾、行政改革、金融、イノベーション、両国外務省の外交官養成等にかかる11の協定が署名されました。同日、レベロ・デ・ソウザ大統領は国民議会の特別セッションにて演説し、アゴスティーニョ・ネット大学で討論授業を実施した後、ルアンダ市内のポルトガル文化センターを訪問し、同日夜にはロウレンソ・アンゴラ大統領夫妻主催の晩餐会に出席しました。7日、同大統領は、同国南部のウイラ地方へ移動し、ベンゲラ州知事官におけるアンゴラ・ポルトガル経済フォーラムの閉会式でスピーチし、同日夜は、ベンゲラ州ロビト港に停泊するポルトガル海軍のフリゲート艦アルヴァレス・カブラル号に地元のポルトガルコミュニティの関係者を招待して夕食会を開催しました。8日はロビト港商業組合を訪問した他、アブレウ・アンゴラ運輸大臣及びアンドラーデ・ベンゲラ州知事が同行し、ベンゲラ鉄道線でロビト港～カトゥンベラ間を鉄道で移動した他、ロウレンソ・アンゴラ大統領を招いたレセプションとコンサートで公式訪問を締め括りました

(3) エスプレッソ紙の世論調査結果—3月

3月9日、週刊エスプレッソ紙はリスボン大学社会科学研究所（ICS）及びISCTE大学とのパートナーシップによる世論調査の結果を発表しました。

政党支持率は、与党・社会党（PS）が37%、最大野党・社会民主党（PSD）が25%、統一民主連合（ポルトガル共産党・緑の党）（CDU）、民衆党（CDS）及び左翼連合（BE）がそれぞれ8%、人と動物と自然の党（PAN）が3%、アリアンサが2%となりました。

「過去1年間のポルトガル経済の変化をどのように評価するか」との問いに対し、「変化はない」が40%、「改善した」が37%、「悪化した」が21%との結果となりました。

(4) 米格付け会社S&Pによるポルトガル国債の信用格上げ

3月15日、米大手格付け会社S&Pは、ポルトガルの債務残高の減少及び均衡のとれた成長を評価し、ポルトガルの長期国債の信用格付を投資適格級の最下限の「BBB-」から「BBB」に1段階引上げ、短期国債の信用格付けも「A-3」から「A-2」に1段階引上げました。

今般の格付の引上げに対し、センターノ財務大臣は、「2017年9月15日、大手格付3社の中で、S&Pが最初にポルトガル国債を投資適格級にした。同日より現在に至るまでポルトガルは234億2,000万ユーロの国債を発行し、金融市場が我々の方向を評価したことにより、利払いを12億7,000万ユーロ削減することができた。本日、ポルトガルは再びS&Pに認められた。我々は今後も同じ流れを継続していく必要がある。今後の課題として先ず取り組むべき事項は未だ高額水準にある債務残高を減らすことである」とコメントしました。

(5) ポルトガル政府がモザンビークのサイクロン被害に対する緊急援助を実施

3月20日、ポルトガル政府は、14日に発生したサイクロン「イダイ」によるモザンビーク

の被害に対し、ポルトガル軍関係者35名及び国家警備隊（GNR）の救助犬チームをモザンビークに派遣しました。また、21日には市民保護局（ANPC）関係者18名が派遣され、22日には消防特別部隊員10名、消防員19名、国家警備隊員18名及び国家救急医療局職員1名が派遣されました。

（6）コスタ首相が欧州理事会に出席

3月21～22日、コスタ首相は、ブリュッセルで開催された欧州理事会に出席しました。21日、コスタ首相は同理事会の英国のEU離脱に関する議論に参加した他、モグリーニEU外務・安全保障政策上級代表兼欧州委員会副委員長とサイクロン「イダイ」の被害を受けたモザンビークへの支援につき会談しました。22日の欧州理事会では、モザンビーク、マラウイ及びジンバブエにおける台風被害に対する人道支援を継続する意向が示された他、気候変動、デジタル経済、5Gネットワークの安全性、欧州経済の基盤技術における国際競争政策、EUの価値と基準を促進する自由貿易協定（FTA）締結及び投資スクリーニング等に関する議論がされました。

（7）欧州議会選挙の世論調査—3月

25日、ジョルナル・デ・ネゴシオス紙はアクシマージュ社が実施した2019年欧州議会選挙の世論調査結果を発表しました。

各党の予想得票率（議席予測）は、社会党（PS）が34.1%（8-9）、社会民主党（PSD）が29.1%（7-8）、統一民主連合（ポルトガル共産党・緑の党）（CDU）が9.2%（2）、左翼連合（BE）が7.6%（2）、民衆党（CDS）が7.3%（1-2）、アリアンサが2%（0）、人と動物と自然の党（PAN）が1.9%（0）となりました。

欧州議会選挙の実施日は5月26日、ポルトガルの議席配分は21席です。

（8）2018年財政赤字（対GDP比）0.5%、公的債務（対GDP比）121.5%

3月26日、国立統計院（INE）は、2018年の財政赤字額が9億1,280万ユーロ、対GDP比0.5%（暫定値）と発表しました。また、2018年の公的債務（対GDP比）は121.5%（暫定値）となりました。

コスタ首相は、ツイッターにおいて、「ポルトガルは財政赤字を0.5%、公的債務を121.5%に削減した。この歴史的かつ良好な結果は、歳出削減又は増税によるものではなく、経済成長、雇用創出及び国際的信用を取り戻した結果である」と述べました。

3. 広報・文化関係

（イベント）

●写真展「HIKARI」の開催

コインブラを中心に活動するポルトガル人写真家 Pedro Medeiros 氏による標記写真展が、以下の通り開催されます。日本に暮らし、日本の諸相を独自の感性で写した写真展です。

日時：4月6日（土）～6月9日（日）

10:00～18:00（火～金曜日）、15:00～19:00（土日祝日）

会場：Centro Português de Fotografia, Sala Joshua Benoliel

住所：Largo Amor de Perdição (Edifício da Ex-Cadeia e Tribunal da Relação do Porto),
4050-008 Porto

入場無料

お問い合わせ：Tel.：220 046 300/ E-mail：mail@cpf.dglab.gov.pt

URL：<http://cpf.pt/>



● IberAnime LX 2019 における日本文化紹介

アニメ、マンガ、コスプレ他日本のポップカルチャーをテーマとしたイベント「IberAnime LX 2019」において、日本大使館による日本の伝統文化紹介等が行われる予定です。

日時：5月18日（土）、19日（日）

会場：FIL (Feira Internacional de Lisboa)

住所：Rua do Bojador, 1998-010 Lisboa

お問い合わせ：info@iberanime.com

URL：<https://www.iberanime.com/>

● 「日本祭り」の開催

今年第9回目を迎える恒例の「日本祭り」(Festa do Japão)が、下記のとおり開催されます。今回は、昨年のオリエント地区から会場を移し、ベレン地区ヴァスコ・ダ・ガマ庭園にて開催の予定です。日本の伝統文化やポップカルチャーの舞台イベント、日本食屋台など様々なプログラムで皆様のご来場をお待ちしています。ぜひお誘いあわせの上、日本の夏祭りの雰囲気をお楽しみ下さい。

日時：6月22日（土） 14時～22時

会場：Jardim Vasco da Gama, R. Vieira Portuense, Lisboa

入場：無料

お問い合わせ：cultural@lb.mofa.go.jp、21 311 0560（日本国大使館広報文化班）

プログラム：（詳細につきましては、確定次第、当館サイト及び大使館便りに掲載いたし

ます)

(報告)

●大使館による日本政府奨学金広報

2019年3月23日、語学学校 LanguageCraft の協力を得て、ポルトガル留学生 OB 会 (JPAG) 主催により「日本での生活、留学で得られるチャンスと試練」と題したセミナーが実施されました。約 30 人が集まった本セミナーにおいて、大使館より日本政府奨学金の広報を実施しました。



(お知らせ)

●「国際ユース作文コンテスト」作品募集

公益財団法人「五井平和財団」の主催により、「2019 度国際ユース作文コンテスト」(財団創立 20 周年特別企画)が行われます。同コンテストの今年のテーマは、「優しさがあふれる社会をつくる」となっています。詳しくは下記 URL を参照下さい。

応募締切:2019年6月15日(土)

お問い合わせ: essay@goipeace.or.jp, Tel: +81 3 3265 2071

URL: <https://www.goipeace.or.jp/work/essay-contest/>

●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jp までご連絡下さい。

4. 領事関係

(1) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、[ポルトガル国内での転居](#)、[日本への帰国](#)、[他国への転出等](#)、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてに E-mail にてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

(2) 第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様は、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には、是非「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使館・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

(3) 海外に住んでいても、国政選挙への投票が可能に！

在外投票を行うには、在外選挙人名簿に登録され、あらかじめ在外選挙人証を取得しておく必要があります。在外選挙登録申請手続きについてはこちらをご参照下さい。：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/flow.html>

(4) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてに E-mail にてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975 E-mail：consular@lb.mofa.go.jp